



Trend Micro Apex One™

Service Pack 1 Patch 3

システム要件

※注意事項

複数年契約について

- ・お客さまが複数年契約（複数年分のサポート費用前払い）された場合でも、各製品のサポート期間については、当該契約期間によらず、製品ごとに設定されたサポート提供期間が適用されます。
- ・複数年契約は、当該契約期間中の製品のサポート提供を保証するものではなく、また製品のサポート提供期間が終了した場合のバージョンアップを保証するものではありませんのでご注意ください。
- ・各製品のサポート提供期間は以下の Web サイトからご確認ください。

<https://success.trendmicro.com/dcx/s/solution/000207383?language=ja>

法人向け製品のサポートについて

- ・法人向け製品のサポートの一部または全部の内容、範囲または条件は、トレンドマイクロの裁量により随時変更される場合があります。
- ・法人向け製品のサポートの提供におけるトレンドマイクロの義務は、法人向け製品サポートに関する合理的な努力を行うことに限られるものとします。

著作権について

本ドキュメントに関する著作権は、トレンドマイクロ株式会社へ独占的に帰属します。トレンドマイクロ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態および手段を問わず、本ドキュメントまたはその一部を複製することは禁じられています。本ドキュメントの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、本ドキュメントの記述に誤りや欠落があってもトレンドマイクロ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。本ドキュメントおよびその記述内容は予告なしに変更される場合があります。

商標について

TRENDMICRO、TREND MICRO、ウイルスバスター、InterScan、INTERSCAN VIRUSWALL、InterScanWebManager、InterScan Web Security Suite、PortalProtect、Trend Micro Control Manager、Trend Micro MobileSecurity、VSAPI、Trend Park、Trend Labs、Network VirusWall Enforcer、Trend Micro USB Security、InterScan Web Security Virtual Appliance、InterScan Messaging Security Virtual Appliance、Trend Micro Reliable Security License、TRSL、Trend Micro Smart Protection Network、SPN、SMARTSCAN、Trend Micro Kids Safety、Trend Micro Web Security、Trend Micro Portable Security、Trend Micro Standard Web Security、Trend Micro Hosted Email Security、Trend Micro Deep Security、ウイルスバスタークラウド、スマートスキャン、Trend Micro Enterprise Security for Gateways、Enterprise Security for Gateways、Smart Protection Server、Deep Security、ウイルスバスター ビジネスセキュリティサービス、SafeSync、Trend Micro NAS Security、Trend Micro Data Loss Prevention、Trend Micro オンラインスキャン、Trend Micro Deep Security Anti Virus for VDI、Trend Micro Deep Security Virtual Patch、SECURE CLOUD、Trend Micro VDI オプション、おまかせ不正請求クリーンナップサービス、Deep Discovery、TCSE、おまかせインストール・バージョンアップ、Trend Micro Safe Lock、Deep Discovery Inspector、Trend Micro Mobile App Reputation、Jewelry Box、InterScan Messaging Security Suite Plus、おもいでバックアップサービス、おまかせ！スマホお探しサポート、保険&デジタルライフサポート、おまかせ！迷惑ソフトクリーンナップサービス、InterScan Web Security as a Service、Client/Server Suite

Premium、Cloud Edge、Trend Micro Remote Manager、Threat Defense Expert、Next Generation Threat Defense、Trend Micro Smart Home Network、Retro Scan、is702、デジタルライフサポートプレミアム、Air サポート、Connected Threat Defense、ライトクリーナー、Trend Micro Policy Manager、フォルダシールド、トレンドマイクロ認定プロフェッショナルトレーニング、Trend Micro Certified Professional、TMCP、XGen、InterScan Messaging Security、InterScan Web Security、Trend Micro Policy-based Security Orchestration、Writing Style DNA、Securing Your Connected World、Apex One、Apex Central、MSPL、TMOL、TSSL、ZERO DAY INITIATIVE、Edge Fire、Smart Check、Trend Micro XDR、Trend Micro Managed XDR、OT Defense Console、Edge IPS、スマスキャ、Cloud One、Cloud One - Workload Security、Cloud One - Conformity、ウイルスバスター チェック！、Trend Micro Security Master、Worry-Free XDR、Worry-Free Managed XDR、Network One、Trend Micro Network One、らくらくサポート、Service One、超早得、先得、Trend Micro One、Workforce One、Security Go、Dock 365、TrendConnect、TREND MICRO FORUM、トレンドマイクロ知恵袋、Trend Cloud One、Trend Service One、および Accelerating You は、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

本ドキュメントに記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright © 2024 Trend Micro Incorporated. All rights reserved.

2024 年 3 月

目次

第1章：Apex One サーバのインストール

Windows Server 2012 プラットフォームへの新規インストール	2
Windows Server 2016 プラットフォームへの新規インストール	3
Windows Server 2019 プラットフォームへの新規インストール	3
Windows Server 2022 プラットフォームへの新規インストール	4
Windows MultiPoint Server プラットフォームへの新規インストール	5

第2章：Trend Micro Apex One エッジリレーサーバのインストール

エッジリレーサーバのシステム要件	8
------------------------	---

第3章：Apex One セキュリティエージェントのシステム要件

Windows エンドポイントプラットフォームへの新規インストール	11
Windows Embedded システムプラットフォームへの新規インストール	12
Windows Server プラットフォームへの新規インストール	15
アップデートエージェント	18

第4章：バージョンアップと仮想化のサポート

Apex One サーバのバージョンアップ要件	20
セキュリティエージェントのバージョンアップ要件	20
Apex One サーバ Web コンソールの要件	20
Trend Micro VDI オプションのシステム要件	21

索引

索引	
----------	--

第1章

Apex One サーバのインストール

このセクションでは、サポートされている Windows Server プラットフォームでの Apex One サーバのシステム要件について説明します。



注意

必要な Windows Update をエンドポイントにインストールして、Azure コード署名 (ACS) を有効にします。詳細については、<https://success.trendmicro.com/dcx/s/solution/000291910?language=ja> を参照してください。

- 3 ページの「Windows Server 2016 プラットフォームへの新規インストール」
- 3 ページの「Windows Server 2019 プラットフォームへの新規インストール」
- 4 ページの「Windows Server 2022 プラットフォームへの新規インストール」
- 5 ページの「Windows MultiPoint Server プラットフォームへの新規インストール」

Windows Server 2012 プラットフォームへの新規インストール



重要

- Windows Server 2012 を実行するコンピュータに Apex One をインストールする場合、ネットワーク通信を保護するため、Windows Server 2012 の TLS 1.2 を有効にすることをお勧めします。
- Windows 2012 R2 については、Apex One サーバのインストール前にアップデート KB2919442 および KB2919355 のインストールが必要です

OS		エディション	SERVICE PACK	プロセッサ	RAM	使用可能な空きディスク容量	SQL SERVER	その他
Windows Server 2012	64 ビット	Standard	なし	1.86GHz Intel™Core™2 Duo 以上	Endpoint Sensor 利用時: • 3GB 以上 (Apex One 専用) • 8GB 以上 (Apex One 専用)	Endpoint Sensor 利用時: • 7.0GB 以上 • 8.0GB 以上	Apex One で正式にサポートされているのは、指定の SQL Server エディションのみです。 • SQL Server 2012 Express 以降 • SQL Server 2012 (Enterprise/Standard) 以降 Endpoint Sensor 利用時: • SQL Server 2016 SP1/2017/2019 (Enterprise/Standard) (SQL Server Express はサポートされていません)	Gigabit Network Interface Card (NIC) 解像度 1366x768、256 色以上をサポートするモニタ
		Datacenter						
Windows Server 2012 R2		Standard	なし	AMD 64 プロセッサ Intel 64 プロセッサ				
		Datacenter						

Windows Server 2016 プラットフォームへの新規インストール

OS		エディション	SERVICE PACK	プロセッサ	RAM	使用可能な空きディスク容量	SQL SERVER	その他
Windows Server 2016	64 ビット	Standard	なし	1.86GHz Intel™Core™2 Duo 以上	<ul style="list-style-type: none"> 3GB 以上 (Apex One 専用) Endpoint Sensor 利用時: <ul style="list-style-type: none"> 8GB 以上 (Apex One 専用) 	<ul style="list-style-type: none"> 7.0GB 以上 Endpoint Sensor 利用時: <ul style="list-style-type: none"> 8.0GB 以上 	Apex One で正式にサポートされているのは、指定の SQL Server エディションのみです。 <ul style="list-style-type: none"> SQL Server 2016 Express 以降 SQL Server 2014 (Enterprise/Standard) 以降 Endpoint Sensor 利用時: <ul style="list-style-type: none"> SQL Server 2016 SP2 (Enterprise/Standard) 以降 (SQL Server Express はサポートされていません)	Gigabit Network Interface Card (NIC) 解像度 1366x768、256 色以上をサポートするモニタ
		Datacenter		AMD 64 プロセッサ Intel 64 プロセッサ				

Windows Server 2019 プラットフォームへの新規インストール

OS		エディション	SERVICE PACK	プロセッサ	RAM	使用可能な空きディスク容量	SQL SERVER	その他
Windows Server 2019 (デスクトップエクスペリエンス GUI モード)	64 ビット	Standard	なし	1.86GHz Intel™Core™2 Duo 以上	<ul style="list-style-type: none"> 3GB 以上 (Apex One 専用) Endpoint Sensor 利用時: <ul style="list-style-type: none"> 8GB 以上 (Apex One 専用) 	<ul style="list-style-type: none"> 7.0GB 以上 Endpoint Sensor 利用時: <ul style="list-style-type: none"> 8.0GB 以上 	Apex One で正式にサポートされているのは、指定の SQL Server エディションのみです。 <ul style="list-style-type: none"> SQL Server 2016 	Gigabit Network Interface Card (NIC) 解像度 1366x768、256 色以上をサポートするモニタ
				AMD 64 プロセッサ Intel 64 プロセッサ				

OS		エディション	SERVICE PACK	プロセッサ	RAM	使用可能な空きディスク容量	SQL SERVER	その他
		Datacenter					<ul style="list-style-type: none"> SQL Server 2014 (Enterprise/Standard) 以降 Endpoint Sensor 利用時: <ul style="list-style-type: none"> SQL Server 2016 SP2 (Enterprise/Standard) 以降 (SQL Server Express はサポートされていません)	

Windows Server 2022 プラットフォームへの新規インストール

OS		エディション	SERVICE PACK	プロセッサ	RAM	使用可能な空きディスク容量	SQL SERVER	その他
Windows Server 2022	64 ビット	Standard	なし	1.86GHz Intel™Core™2 Duo 以上 AMD 64 プロセッサ Intel 64 プロセッサ	<ul style="list-style-type: none"> 3GB 以上 (Apex One 専用) Endpoint Sensor 利用時: <ul style="list-style-type: none"> 8GB 以上 (Apex One 専用) 	<ul style="list-style-type: none"> 7.0GB 以上 Endpoint Sensor 利用時: <ul style="list-style-type: none"> 8.0GB 以上 	Apex One で正式にサポートされているのは、指定の SQL Server エディションのみです。 <ul style="list-style-type: none"> SQL Server 2016 Express 以降 SQL Server 2014 (Enterprise/Standard) 以降 Endpoint Sensor 利用時: <ul style="list-style-type: none"> SQL Server 2016 SP2 (Enterprise/Standard) 以降 	Gigabit Network Interface Card (NIC) 解像度 1366x768、256色以上をサポートするモニター

OS		エディション	SERVICE PACK	プロセッサ	RAM	使用可能な空きディスク容量	SQL SERVER	その他
		Datacenter					(SQL Server Express はサポートされていません)	

Windows MultiPoint Server プラットフォームへの新規インストール

OS		エディション	SERVICE PACK	プロセッサ	RAM	使用可能な空きディスク容量	SQL SERVER	その他
Windows MultiPoint Server 2012	64 ビット	Standard	なし	1.86GHz Intel™Core™2 Duo 以上 AMD 64 プロセッサ Intel 64 プロセッサ	<ul style="list-style-type: none"> 3GB 以上 (Apex One 専用) Endpoint Sensor 利用時: <ul style="list-style-type: none"> 8GB 以上 (Apex One 専用) 	<ul style="list-style-type: none"> 7.0GB 以上 Endpoint Sensor 利用時: <ul style="list-style-type: none"> 8.0GB 以上 	Apex One で正式にサポートされているのは、指定の SQL Server エディションのみです。 <ul style="list-style-type: none"> SQL Server 2016 Express 以降 SQL Server 2014 (Enterprise/Standard) 以降 Endpoint Sensor 利用時: <ul style="list-style-type: none"> SQL Server 2016 SP2 (Enterprise/Standard) 以降 (SQL Server Express はサポートされていません)	Gigabit Network Interface Card (NIC) 解像度 1366x768、256 色以上をサポートするモニタ
		Premium						

第2章

Trend Micro Apex One エッジリレーサーバのインストール

このセクションでは、サポートされている Windows Server プラットフォームでの Trend Micro Apex One エッジリレーサーバのシステム要件について説明します。

- [8 ページの「エッジリレーサーバのシステム要件」](#)

エッジリレーサーバのシステム要件

エッジリレーサーバをインストールする前に、対象のサーバコンピュータがシステムの最小要件を満たしていることを確認してください。

リソース	要件
プロセッサ	2GHz デュアルコア
メモリ	1GB (エッジリレーサーバに使用)
ディスク容量	60 GB
OS	<ul style="list-style-type: none">• Windows Server 2022• Windows Server 2019• Windows Server 2016
ネットワークカード	<ul style="list-style-type: none">• ネットワークカード×2の場合:<ul style="list-style-type: none">• Apex One サーバへのイントラネット接続用に1つ• オフプレミスのセキュリティエージェントへの外部接続用に1つ• ネットワークカード×1の場合: イントラネット接続とインターネット接続に異なるポートを使用するように設定

第3章

Apex One セキュリティエージェントのシステム要件

このセクションでは、サポートされている Windows プラットフォームに新規インストールする際の、Apex One セキュリティエージェントのシステム要件について説明します。



注意

必要な Windows Update をエンドポイントにインストールして、Azure コード署名 (ACS) を有効にします。詳細については、<https://success.trendmicro.com/dcx/s/solution/000291910?language=ja> を参照してください。

- 11 ページの「Windows エンドポイントプラットフォームへの新規インストール」
- 12 ページの「Windows Embedded システムプラットフォームへの新規インストール」
- 15 ページの「Windows Server プラットフォームへの新規インストール」
- 18 ページの「アップデートエージェント」

**重要**

- エンドポイントで多数のアプリケーションが同時に実行されている場合は、リソースの一時的な高負荷が発生する可能性があります。対象エンドポイントですでにメモリまたはディスク容量が不足している場合は、Apex One セキュリティエージェントのインストールまたはバージョンアップの前に必要なハードウェアコンポーネントをバージョンアップすることをお勧めします。
- 広範囲にわたる検索処理中に、十分なパフォーマンスを確保できるよう、記載されているシステムの最小要件をセキュリティエージェントプログラム専用のリソースとして割り当てることをお勧めします。

**注意**

- Windows Embedded プラットフォームおよび Storage Server でのトレンドマイクロのテストは、すべて仮想環境で実行されています。これらのオペレーティングシステムは、一般にカスタムのハードウェア (POS 端末など) で実行されるため、お客さまは実稼働環境への導入前に、対象のハードウェアプラットフォームで十分なテストの実施を計画する必要があります。また、サポートケースを登録する前には、仮想環境での問題の再現を試行してください (トレンドマイクロのサポートチームが使用しているのが仮想環境であるため)。問題がカスタムハードウェアでの導入環境に固有のものである場合は、サポートケースに十分に対応するために、お客さまの適切な環境へのリモートアクセスを許可していただくようお願いする場合があります。
- 統合書き込みフィルター (UWF) 機能が有効になっている Windows プラットフォームへの Apex One セキュリティエージェントのインストールはサポートしていません。

Windows エンドポイントプラットフォームへの新規インストール



重要

エンドポイントで多数のアプリケーションが同時に実行されている場合は、リソースの一時的な高負荷が発生する可能性があります。対象エンドポイントですでにメモリまたはディスク容量が不足している場合は、Apex One セキュリティエージェントのインストールまたはバージョンアップの前に必要なハードウェアコンポーネントをバージョンアップすることをお勧めします。

広範囲にわたる検索処理中に、十分なパフォーマンスを確保できるよう、記載されているシステムの最小要件をセキュリティエージェントプログラム専用のリソースとして割り当てることをお勧めします。



注意

Windows Embedded プラットフォームおよび Storage Server でのトレンドマイクロのテストは、すべて仮想環境で実行されています。これらのオペレーティングシステムは、一般にカスタムのハードウェア (POS 端末など) で実行されるため、お客さまは実稼働環境への導入前に、対象のハードウェアプラットフォームで十分なテストの実施を計画する必要があります。また、サポートケースを登録する前には、仮想環境での問題の再現を試行してください (トレンドマイクロのサポートチームが使用しているのが仮想環境であるため)。問題がカスタムハードウェアでの導入環境に固有のものである場合は、サポートケースに十分に対応するために、お客さまの適切な環境へのリモートアクセスを許可していただくようお願いする場合があります。

統合書き込みフィルター (UWF) 機能が有効になっている Windows プラットフォームへの Apex One セキュリティエージェントのインストールはサポートしていません。

OS		エディション	SERVICE PACK	プロセッサ	RAM	使用可能な空きディスク容量	その他
Windows 10 (バージョン 22H2 以前)	32 ビット/64 ビット	Home	なし	1GHz (32 ビット)/2GHz (64 ビット) Intel Pentium 以上 または同等の CPU、2GHz を推奨 AMD 64 プロセッサ Intel 64 プロセッサ	<ul style="list-style-type: none"> 2GB 以上 (Apex One 専用) Endpoint Sensor 利用時: <ul style="list-style-type: none"> 2GB 以上 (Apex One 専用) 	<ul style="list-style-type: none"> 1.5GB 以上 2.0GB 以上を推奨 Endpoint Sensor 利用時: <ul style="list-style-type: none"> 2.0GB 以上 3.0GB 以上を推奨 	解像度 1024x768、256 色以上をサポートするモニター リモートレジストリを有効にする Windows ファイアウォール (有効な場合) でプリンタ/ファイルの共有を許可する 初期設定のローカル管理を有効にする
		Pro					
		Pro for Workstations					
		Education					

OS		エディション	SERVICE PACK	プロセッサ	RAM	使用可能な空きディスク容量	その他
		Enterprise					 注意 Windows UI はサポートされていません。
Windows 11 (バージョン 23H2 以前)	64 ビット	Home	なし	2GHz (64 ビット) Intel Pentium 以上または同等の CPU AMD 64 プロセッサ Intel 64 プロセッサ	<ul style="list-style-type: none"> • 2GB 以上 (Apex One 専用) Endpoint Sensor 利用時:	<ul style="list-style-type: none"> • 1.5GB 以上 • 2.0GB 以上を推奨 Endpoint Sensor 利用時:	解像度 1024x768、256 色以上をサポートするモニタ リモートレジストリを有効にする Windows ファイアウォール (有効な場合) でプリンタ/ファイルの共有を許可する 初期設定のローカル管理を有効にする
		Pro					
		Pro for Workstations					
		Education					
		Enterprise					
							 注意 Windows UI はサポートされていません。

Windows Embedded システムプラットフォームへの新規インストール



重要

エンドポイントで多数のアプリケーションが同時に実行されている場合は、リソースの一時的な高負荷が発生する可能性があります。対象エンドポイントですでにメモリまたはディスク容量が不足している場合は、Apex One セキュリティエージェントのインストールまたはバージョンアップの前に必要なハードウェアコンポーネントをバージョンアップすることをお勧めします。


広範囲にわたる検索処理中に、十分なパフォーマンスを確保できるよう、記載されているシステムの最小要件をセキュリティエージェントプログラム専用のリソースとして割り当てることをお勧めします。

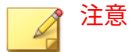
**注意**

Windows Embedded プラットフォームおよび Storage Server でのトレンドマイクロのテストは、すべて仮想環境で実行されています。これらのオペレーティングシステムは、一般にカスタムのハードウェア (POS 端末など) で実行されるため、お客さまは実稼働環境への導入前に、対象のハードウェアプラットフォームで十分なテストの実施を計画する必要があります。また、サポートケースを登録する前には、仮想環境での問題の再現を試行してください (トレンドマイクロのサポートチームが使用しているのが仮想環境であるため)。問題がカスタムハードウェアでの導入環境に固有のものである場合は、サポートケースに十分に対応するために、お客さまの適切な環境へのリモートアクセスを許可していただくようお願いする場合があります。

統合書き込みフィルター (UWF) 機能が有効になっている Windows プラットフォームへの Apex One セキュリティエージェントのインストールはサポートしていません。

OS		エディション	SERVICE PACK	プロセッサ	RAM	使用可能な空きディスク容量	その他
Windows 10 IoT	32 ビット/64 ビット	Enterprise	なし	1GHz (32 ビット)/2GHz (64 ビット) Intel Pentium 以上 または同等の CPU、2GHz を推奨 AMD 64 プロセッサ Intel 64 プロセッサ	• 2GB 以上 (Apex One 専用)	• 1.5GB 以上 • 2.0GB 以上を推奨	解像度 1024x768、256 色以上をサポートするモニター 簡易ファイルの共有は無効 リモートレジストリを有効にする Windows ファイアウォール (有効な場合) でプリンタ/ファイルの共有を許可する 初期設定のローカル管理を有効にする

OS		エディション	SERVICE PACK	プロセッサ	RAM	使用可能な空きディスク容量	その他
Windows 11 IoT	64 ビット	Enterprise	なし	2GHz (64 ビット) Intel Pentium 以上または同等の CPU AMD 64 プロセッサ Intel 64 プロセッサ	• 2GB 以上 (Apex One 専用)	• 1.5GB 以上 • 2.0GB 以上を推奨	解像度 1024x768、256 色以上をサポートするモニター リモートレジストリを有効にする Windows ファイアウォール (有効な場合) でプリンタ/ファイルの共有を許可する 初期設定のローカル管理を有効にする  注意 Windows UI はサポートされていません。

**注意**

- セキュリティエージェントは Windows Embedded システムをサポートしていますが、インストールには特定のコアコンポーネントが必要です。Windows Embedded システムに必要なコンポーネントの詳細については、製品 Q&A (<https://success.trendmicro.com/dcx/s/solution/1105215?language=ja>) を参照してください。
- 各 Windows Embedded システムの構成は一律ではないため、オプションの Windows コンポーネントの一部が Apex One でサポートされない場合があります。オプションのコンポーネントを組み合わせて使用するにあたり、互換性の問題が発生した場合は、テクニカルサポートチームまでご連絡ください。

Windows Server プラットフォームへの新規インストール



重要

エンドポイントで多数のアプリケーションが同時に実行されている場合は、リソースの一時的な高負荷が発生する可能性があります。対象エンドポイントですでにメモリまたはディスク容量が不足している場合は、Apex One セキュリティエージェントのインストールまたはバージョンアップの前に必要なハードウェアコンポーネントをバージョンアップすることをお勧めします。

広範囲にわたる検索処理中に、十分なパフォーマンスを確保できるよう、記載されているシステムの最小要件をセキュリティエージェントプログラム専用のリソースとして割り当てることをお勧めします。





注意

Windows Embedded プラットフォームおよび Storage Server でのトレンドマイクロのテストは、すべて仮想環境で実行されています。これらのオペレーティングシステムは、一般にカスタムのハードウェア (POS 端末など) で実行されるため、お客さまは実稼働環境への導入前に、対象のハードウェアプラットフォームで十分なテストの実施を計画する必要があります。また、サポートケースを登録する前には、仮想環境での問題の再現を試行してください (トレンドマイクロのサポートチームが使用しているのが仮想環境であるため)。問題がカスタムハードウェアでの導入環境に固有のものである場合は、サポートケースに十分に対応するために、お客さまの適切な環境へのリモートアクセスを許可していただくようお願いする場合があります。

統合書き込みフィルター (UWF) 機能が有効になっている Windows プラットフォームへの Apex One セキュリティエージェントのインストールはサポートしていません。

OS		エディション	SERVICE PACK	プロセッサ	RAM	使用可能な空きディスク容量	その他
Windows Server 2012	64 ビット	Standard	なし	2GHz (64 ビット) Intel Pentium 以上または同等の CPU	• 2GB 以上 (Apex One 専用)	• 1.5GB 以上 • 2.0GB 以上を推奨	解像度 1024x768、256 色以上をサポートするモニター リモートレジストリを有効にする
		Datacenter					
		Server Core					
Windows Server 2012 R2	64 ビット	Standard	なし	Intel 64 プロセッサ	• 2GB 以上 (Apex One 専用)	• 1.5GB 以上 • 2.0GB 以上を推奨	Windows ファイアウォール (有効な場合) でプリンタ/ファイルの共有を許可する 初期設定のローカル管理を有効にする
		Datacenter					
		Server Core					

OS		エディション	SERVICE PACK	プロセッサ	RAM	使用可能な空きディスク容量	その他				
Windows Storage Server 2012		Standard	なし				 注意 Windows UI はサポートされていません。				
		Workgroup									
Windows Storage Server 2012 R2		Standard	なし								
		Workgroup									
Windows MultiPoint Server 2012		Standard	なし								
		Premium									
Windows Server 2012 フェイルオーバークラスター		なし	なし								
Windows Server 2012 R2 フェイルオーバークラスター		なし	なし					• 2GB 以上 (Apex One 専用)			
Windows Server 2016	64 ビット	Standard	なし					2GHz (64 ビット) Intel Pentium 以上または同等の CPU AMD 64 プロセッサ Intel 64 プロセッサ	• 2GB 以上 (Apex One 専用)	<ul style="list-style-type: none"> • 1.5GB 以上 • 2.0GB 以上を推奨 	解像度 1024x768、256 色以上をサポートするモニター リモートレジストリを有効にする Windows ファイアウォール (有効な場合) でプリンタ/ファイルの共有を許可する 初期設定のローカル管理を有効にする
		Datacenter									
		Server Core									
Windows Server 2016 フェイルオーバークラスター		なし	なし								
Windows Storage Server 2016	64 ビット	Standard	なし								
		Workgroup									
							 注意 Windows UI はサポートされていません。				

OS		エディション	SERVICE PACK	プロセッサ	RAM	使用可能な空きディスク容量	その他
Windows Server 2019	64 ビット	Standard	なし	2GHz (64 ビット) Intel Pentium 以上または同等の CPU AMD 64 プロセッサ Intel 64 プロセッサ	• 2GB 以上 (Apex One 専用)	• 1.5GB 以上 • 2.0GB 以上を推奨	<p>解像度 1024x768、256 色以上をサポートするモニター</p> <p>リモートレジストリを有効にする</p> <p>Windows ファイアウォール (有効な場合) でプリンタ/ファイルの共有を許可する</p> <p>初期設定のローカル管理を有効にする</p> <hr/> <p> 注意 Windows UI はサポートされていません。</p>
		Datacenter					
		Server Core					
Windows Server 2022	64 ビット	Standard	なし	2GHz (64 ビット) Intel Pentium 以上または同等の CPU AMD 64 プロセッサ Intel 64 プロセッサ	• 2GB 以上 (Apex One 専用)	• 1.5GB 以上 • 2.0GB 以上を推奨	<p>解像度 1024x768、256 色以上をサポートするモニター</p> <p>リモートレジストリを有効にする</p> <p>Windows ファイアウォール (有効な場合) でプリンタ/ファイルの共有を許可する</p> <p>初期設定のローカル管理を有効にする</p> <hr/> <p> 注意 Windows UI はサポートされていません。</p>
		Datacenter					
		Server Core					

**注意**

特定のプラットフォームのプロセッサおよび RAM の要件については、該当するプラットフォームの Microsoft システム要件を参照してください。

アップデートエージェント

**重要**

エンドポイントで多数のアプリケーションが同時に実行されている場合は、リソースの一時的な高負荷が発生する可能性があります。対象エンドポイントですでにメモリまたはディスク容量が不足している場合は、Apex One セキュリティエージェントのインストールまたはバージョンアップの前に必要なハードウェアコンポーネントをバージョンアップすることをお勧めします。

広範囲にわたる検索処理中に、十分なパフォーマンスを確保できるよう、記載されているシステムの最小要件をセキュリティエージェントプログラム専用のリソースとして割り当てることをお勧めします。

リソース	要件
プロセッサ	1GHz (32 ビット)/2GHz (64 ビット) Intel Pentium 以上または同等の CPU、2GHz を推奨
RAM	2GB 以上 (Apex One 専用)
使用可能なディスク空き容量	<ul style="list-style-type: none"> • 1.8GB 以上 • 2.3GB 以上を推奨
ディスプレイ	解像度 1024x768、256 色以上をサポートするモニタ

第4章

バージョンアップと仮想化のサポート

このセクションでは、サーバプログラムとエージェントプログラムのバージョンアップ、およびサポートされている仮想化プラットフォームのシステム要件について説明します。

- 20 ページの「Apex One サーバのバージョンアップ要件」
- 20 ページの「セキュリティエージェントのバージョンアップ要件」
- 20 ページの「Apex One サーバ Web コンソールの要件」
- 21 ページの「Trend Micro VDI オプションのシステム要件」

Apex One サーバのバージョンアップ要件

このバージョンの Apex One では、以下のバージョンへのバージョンアップがサポートされています。

- Apex One

バージョンアップする前に、お使いのバージョンの Windows に必要なハードウェア要件をサーバが満たしていることを確認してください。

詳細については、[1 ページの Apex One サーバのインストール](#)を参照してください。

セキュリティエージェントのバージョンアップ要件

Apex One Service Pack 1 Patch 3 では、以下のバージョンへのバージョンアップがサポートされています。

- Apex One




重要

エンドポイントで多数のアプリケーションが同時に実行されている場合は、リソースの一時的な高負荷が発生する可能性があります。対象エンドポイントですでにメモリまたはディスク容量が不足している場合は、Apex One セキュリティエージェントのインストールまたはバージョンアップの前に必要なハードウェアコンポーネントをバージョンアップすることをお勧めします。

広範囲にわたる検索処理中に、十分なパフォーマンスを確保できるよう、記載されているシステムの最小要件をセキュリティエージェントプログラム専用のリソースとして割り当てることをお勧めします。

Apex One サーバ Web コンソールの要件

リソース	要件
プロセッサ	300MHz Intel Pentium または同等の CPU
RAM	128MB 以上
使用可能なディスク空き容量	30MB 以上
ディスプレイ	解像度 1366x768、256 色以上をサポートするモニタ

リソース	要件
ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> • Chrome • Microsoft Edge (レガシ/Chromium エディション)
	 注意 Windows UI はサポートされていません。

Trend Micro VDI オプションのシステム要件

次の表は、Trend Micro VDI オプションでサポートされる仮想プラットフォームを示しています。

仮想化プロバイダ	サポートされるプラットフォーム
VMware	<ul style="list-style-type: none"> • VMware vCenter: 5.x、6.x、7.x、8.x • VMware View: 4.x、5.x、6.x • VMware Horizon View: 6.x、7.x、8.x
Citrix	<ul style="list-style-type: none"> • Citrix XenServer: 6.x、7.x

仮想化プロバイダ	サポートされるプラットフォーム
HyperV	<p>Hyper-V Server:</p> <ul style="list-style-type: none">• Microsoft Hyper-V Server 2012/2012 R2 (64 ビット)• Microsoft Hyper-V Server 2016 (64 ビット)• Microsoft Hyper-V Server 2019 (64 ビット) <p>Windows Server Hyper-V:</p> <ul style="list-style-type: none">• Windows Server 2012/2012 R2 (64 ビット) Hyper-V• Windows Server 2016 (64 ビット) Hyper-V• Windows Server 2019 (64 ビット) Hyper-V• Windows Server 2022 (64 ビット) Hyper-V <p>Windows Hyper-V:</p> <ul style="list-style-type: none">• Windows 8/8.1 Pro/Enterprise (64 ビット) Hyper-V• Windows 10 Pro/Pro for Workstation/Enterprise (64 ビット) Hyper-V• Windows 11 Pro/Pro for Workstation/Enterprise (64 ビット) Hyper-V

索引

アルファベット

Apex One サーバ
 Web コンソール, 20, 21
 Windows MultiPoint Server
 2012, 5
 Windows Server 2012, 2
 Windows Server 2012 R2, 2
 Windows Server 2016, 3
 Windows Server 2019, 3
 Windows Server 2022, 4
 バージョンアップ, 20
Apex One サーバのバージョンアッ
プ, 20
Web コンソール, 20, 21
Windows 10, 11
Windows 11, 12
Windows MultiPoint Server 2012, 5,
16
Windows Server 2012, 2, 15
Windows Server 2012 R2, 2, 15
Windows Server 2012 R2 フェイル
オーバークラスタ, 16
Windows Server 2012 フェイルオー
バークラスタ, 16
Windows Server 2016, 3, 16
Windows Server 2016 フェイルオー
バークラスタ, 16
Windows Server 2019, 3, 17
Windows Server 2022, 4, 17
Windows Storage Server 2012, 16
Windows Storage Server 2012 R2, 16
Windows Storage Server 2016, 16

あ

アップデートエージェント, 18

さ

セキュリティエージェント
 Windows 10, 11
 Windows 10 IoT, 13
 Windows 11, 12
 Windows 11 IoT, 14
 Windows MultiPoint Server
 2012, 16
 Windows Server 2012, 15
 Windows Server 2012 R2, 15
 Windows Server 2012 R2 フェ
 イルオーバークラスタ, 16
 Windows Server 2012 フェイル
 オーバークラスタ, 16
 Windows Server 2016, 16
 Windows Server 2016 フェイル
 オーバークラスタ, 16
 Windows Server 2019, 17
 Windows Server 2022, 17
 Windows Storage Server 2012,
 16
 Windows Storage Server 2012
 R2, 16
 Windows Storage Server 2016,
 16
 アップデートエージェント, 18
 バージョンアップ, 20
セキュリティエージェントのバー
ジョンアップ, 20